

A 症状 (SYMPTOMS)

病的な現象または構造、機能や感覚の正常からの逸脱は、疾病や健康上の問題の指標となる可能性がある。症状は、個人が自発的に訴えるか、もしくは個人のパートナーまたは介護者により述べられることもある。

1 下部尿路症状 (Lower urinary tract symptoms: LUTS) ★

下部尿路に関連する症状。蓄尿 [時] 症状、排尿 [時] 症状 (尿排出 [時] 症状)、排尿後症状、下部尿路痛と他の骨盤痛に分類される。膀胱、前立腺、尿道、および/または隣接する骨盤底または骨盤臓器に由来する場合もあれば、解剖学的に同様な神経支配下にある臓器 (例: 下部尿管) に関連して生じることもある。

1.1 蓄尿 [時] 症状 (Storage symptoms)

下部尿路症状のうち、膀胱蓄尿相 (時) にみられる症状を指す。

1.1.1 頻尿 (Increased urinary frequency) †

個人 (または介護者) が正常と考えるよりも排尿回数が多すぎるという愁訴。排尿の時間と回数は規定されていない。

1.1.2 昼間頻尿 (Increased daytime urinary frequency) ★

個人 (または介護者) が、昼間の排尿回数が多すぎるという愁訴。

1.1.3 夜間頻尿 (Nocturia)

夜間睡眠中に排尿のために1回以上起きなければならないという愁訴。ICS Nocturiaに関するICS標準用語報告書(2019)では、症状としての“*Nocturia*”は、“*The number of times urine is passed during the main sleep period.* (主要睡眠時間(帯)の排尿回数)”と解説されているが、ここでは、ICS標準用語基準(2002)とその日本語訳(2003)に準じた定義とした。

1.1.4 多尿 (Polyuria (global symptom)) †

24時間の総排尿量が以前の経験よりも著しく増えたという愁訴。

1.1.4.1 昼間多尿 (Diurnal polyuria) †

昼間の排尿量が以前の経験よりも著しく増えたという愁訴。

1.1.4.2 夜間多尿 (Nocturnal polyuria) †

夜間に排尿する量が多いという愁訴。

1.1.5 膀胱充満 (感) 症状 (Bladder filling (sensory) symptoms) †

膀胱充満時に経験する異常な感覚。

- 1.1.5.1 **膀胱充満感亢進 (Increased bladder filling sensation) +**
膀胱充満感を、以前に経験したよりも、より早期から、もしくはより強く、または持続的に感じるという愁訴。これは、尿意があるにもかかわらず、排尿を我慢できるという事実により、尿意切迫感とは区別できる。
- 1.1.5.2 **尿意切迫感 (Urgency)**
急に起こる、我慢することが困難な強い尿意。
- 1.1.5.3 **膀胱充満感減弱 (Reduced bladder filling sensation) +**
膀胱充満感を、以前に経験したよりも、より弱く、もしくはより遅くに感じるという愁訴。
- 1.1.5.4 **膀胱充満感欠如 (Absent bladder filling sensation) +**
膀胱充満感とはっきりとした尿意の両方がないという愁訴。
- 1.1.5.5 **非特異的 (非典型的) 膀胱充満感 (Non-specific (atypical) bladder filling sensation (bladder dysesthesia)) +**
ぼんやりとした腹部膨満感、自律神経症状 (嘔気、嘔吐、めまい)、または、痙性 (痙縮) のような、膀胱充満時に異常な感覚が起こるという愁訴。これは、正常な膀胱充満感や膀胱痛、圧迫感、不快感とは異なる。

1.1.6 **膀胱知覚 (Bladder sensation) ★**

神経因性下部尿路機能障害 (を疑う) 患者では、膀胱知覚を病歴聴取中に以下のカテゴリーに分類する。

- 1.1.6.1 **正常膀胱知覚 (Normal bladder sensation)**
膀胱充満感がわかり、それが次第に増して強い尿意に至るのを感じられる。
- 1.1.6.2 **異常知覚 (Abnormal sensations) +**
膀胱、尿道、または骨盤部の感覚の認識で、臨床的に関連する神経障害 (例えば、不完全な脊髄病変) があり、「ちくちくする」「灼熱感」「電気ショック」などの言葉で説明される。

1.1.7 **尿失禁症状 (症状としての尿失禁) (Urinary incontinence symptoms) ★**

蓄尿相中に経験する不随意な尿漏れ。

- 1.1.7.1 **切迫性尿失禁 (Urgency urinary incontinence: UUI)**
尿意切迫感に伴って、不随意に尿が漏れるという愁訴。
- 1.1.7.2 **腹圧性尿失禁 (Stress urinary incontinence: SUI) ★**
労作時または運動時、もしくはくしゃみまたは咳の際に、不随意に尿が漏れるという愁訴。言語によっては、心理的ストレスとの混乱を避けるために、「活動に関連した尿失禁 [activity (effort) -related incontinence]」の言葉が好まれることがある。

- 1.1.7.3 混合性尿失禁 (Mixed urinary incontinence: MUI)**
 切迫性尿失禁と腹圧性尿失禁の双方があるという愁訴で、尿意切迫感だけでなく、運動・労作・くしゃみ・咳にも関連して、不随意に尿が漏れるという愁訴。
- 1.1.7.4 夜尿 (夜間遺尿) (Nocturnal enuresis) †**
 夜間睡眠中に間欠的に尿が漏れるという愁訴。
- 1.1.7.4.1 一次性夜尿 (Primary nocturnal enuresis) †**
 消失した時期があったとしても6カ月に満たない夜尿。
- 1.1.7.4.2 二次性夜尿 (Secondary nocturnal enuresis) †**
 消失していた時期が6カ月以上ある夜尿。
- 1.1.7.5 持続性尿失禁 (Continuous urinary incontinence)**
 持続的に尿が漏れるという愁訴。
- 1.1.7.6 無感覚性尿失禁 (Insensible urinary incontinence) †**
 個人が尿漏れを認識しているが、どのようにまたはいつ発生したかわからない尿失禁の愁訴。
- 1.1.7.7 体位変換性尿失禁 (Postural urinary incontinence) †**
 (例えば、仰臥位または座位から立位への) 姿勢または体位変換中に尿失禁があるという愁訴。
- 1.1.7.8 機能障害性尿失禁 (機能性尿失禁) (Disability associated incontinence) †**
 身体的 (例えば整形外科的、神経学的) および/または精神的障害のために、通常の時間内にトイレ/便器に到達することができない機能的障害による尿失禁の愁訴。
- 1.1.7.8.1 運動機能障害性尿失禁 (Impaired mobility urinary incontinence) †**
 運動機能障害のために通常の時間内にトイレに到達できずに尿失禁が生じるという愁訴。
- 1.1.7.8.2 認知機能障害性尿失禁 (Impaired cognition urinary incontinence) †**
 認知機能障害のある患者がトイレを認知できずに尿失禁が生じるという愁訴。
- 1.1.7.9 溢流性尿失禁 (Overflow incontinence) †**
 過剰な膀胱充満 (原因は特定されない) による尿失禁の愁訴。
- 1.1.7.10 性的興奮時尿失禁 (Sexual arousal incontinence) †**
 性的興奮、前戯、および/またはマスターベーション中に尿が不随意に漏れるという愁訴。

- 1.1.7.11 性的活動時尿失禁 (Sexual activity urinary incontinence) †
性行為に関連して、または性行為中に尿失禁があるという愁訴.
- 1.1.7.12 クライマックス尿失禁 (Climacturia) †
オルガスム時に尿が不随意に漏れるという愁訴.
- 1.1.7.13 その他の尿失禁 (Other situational types of urinary incontinence) ★
特有の状況で起こるもの、例えば、笑い尿失禁、癲癇発作に関連した尿失禁、馬尾神経障害や多系統萎縮症におけるオスフ核病変による括約筋除神経に関連した尿失禁などがあげられる.

1.2 排尿 [時] 症状 (尿排出 [時] 症状) (Voiding symptoms) †

下部尿路症状のうち、排尿相 (時) にみられる症状. なお、下部尿路症状全体を指す意味で「排尿症状」という用語を使用すべきではない.

- 1.2.1 遷延性排尿 (排尿遅延) (Hesitancy) ★
排尿開始が困難で、排尿準備ができてから排尿開始までに時間がかかるという愁訴.
- 1.2.2 トイレ恐怖症 (Paruresis (“bashful” or “shy bladder”)) †
個室では問題なく排尿できるが、(他人のいるような) 公衆トイレで排尿を開始できないという愁訴.
- 1.2.3 腹圧排尿 (Straining to void) ★
排尿の開始、尿線の維持または改善のために、腹圧を加える必要があるという愁訴.
- 1.2.4 尿勢低下 (Slow (weak) stream) ★
尿の勢いが弱いという愁訴.
- 1.2.5 尿線途絶 (Intermittency) ★
尿線が排尿中に1回以上途切れるという愁訴.
- 1.2.6 排尿終末時尿滴下 (Terminal dribbling) ★
排尿終末時に尿勢が低下して尿が滴下するという愁訴.
- 1.2.7 尿線分割 (Spraying (splitting) of urinary stream) ★
尿線が分かれて出るという愁訴.
- 1.2.8 体位依存性排尿 (Position-dependent voiding) †
男性において、自然に排尿できるようにまたは尿排出の改善のため、立位ではなく、便器に腰掛けした姿勢など特異な姿勢を取らなければいけないという愁訴.
- 1.2.9 排尿時痛 (Pain on micturition) †
排尿時に疼痛・灼熱感があるという愁訴. 「dysuria」という用語は、定義が難しく意味も明確でないため、使用すべきでない.

- 1.2.10 血尿 (Hematuria) †**
尿に目で見てわかるほどの血液が混じっているという愁訴。これは、排尿開始時、終末時、排尿中を通して（全血尿とよぶ）いずれでも見られる。
- 1.2.11 気尿 (Pneumaturia) †**
排尿中または排尿後に尿道から空気が出るという愁訴。
- 1.2.12 糞尿症 (Fecaluria) †**
（尿道から出る）尿中に便が混じるという愁訴。
- 1.2.13 乳び尿 (Chyluria (albiduria)) †**
尿中に乳びが混じる（青白いまたは白い、乳白色、濁った）という愁訴。
- 1.2.14 尿閉 (Urinary retention) †**
膀胱内に貯留している尿を全く排出できないという愁訴。
- 1.2.14.1 急性尿閉 (Acute urinary retention: AUR) †**
排尿をしようと持続的に試みるが排尿できない状態が急性に発症したという愁訴。通常、恥骨上部に（充満した膀胱による）疼痛を伴う。
- 1.2.14.2 慢性尿閉 (Chronic urinary retention: CUR) †**
ある程度尿は出せるにもかかわらず、慢性的にまたは反復して尿が排出できないという愁訴。結果的に、少量の尿の頻回の排出や尿失禁という症状で表出されたり、膨満した膀胱として自覚されることがある。
- 1.3 排尿後症状 (Postvoiding symptoms)**
下部尿路症状のうち、排尿直後にみられる症状を指す。
- 1.3.1 残尿感 (Feeling of incomplete (bladder) emptying) ★**
排尿後に完全に膀胱が空になっていない感じがするという愁訴。
- 1.3.2 排尿直後尿意 (二重排尿) (Need to immediately re-void (“encore” or “double voiding”)) †**
排尿直後にまた排尿しなければならないという愁訴。
- 1.3.3 排尿後尿滴下 (Post-voiding incontinence)**
排尿直後に尿が不随意に滴下するという愁訴。
- 1.3.4 排尿後尿意切迫感 (Post-micturition urgency) †**
排尿後にも持続する尿意切迫感があるという愁訴。
- 1.4 下部尿路痛と他の骨盤痛**
- 1.4.1 膀胱痛 (Bladder pain) ★**
恥骨上部または恥骨後部に感じられる、膀胱に関連した痛み、圧迫感、または不快感である。通常膀胱充満につれて増強し、排尿後に持続することも、ある